

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第12報 (8月3日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年8月4日)

道府県	生育状況等	
	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)
北海道	(全道)	生育は、平年並に推移している(遅1日)。草丈は64.3cm(平年差-0.2cm)、葉数は10.5枚(平年差+0.1枚)、茎数は645本/m ² (平年差-19本)でいづれも平年並。 (北海道農政部 7月15日現在)
	(生育)	(空知) 生育は平年並に進んでいる(遅2日)。草丈は65.9cm(平年差-0.1cm)、葉数は10.6枚(平年差+0.2枚)、茎数は600本/m ² (平年差-17本)でいづれも平年並。(空知総合振興局 7月15日現在) (石狩) 高湿・多雨により生育は順調である(早1日)。草丈は59.4cm(平年差-1.3cm)、葉数は10.1枚(平年差+0.2枚)、茎数は662本/m ² (平年差-5本)といづれも平年並。(石狩総合振興局 7月15日現在) (後志) 草丈は59.3cm(平年差-2.3cm)で平年並、葉数は10.3枚(平年差+0.2枚)で平年並、茎数は600本/m ² (平年差-44.0本)でやや少ない。生育の遅延は遅3日。(後志総合振興局 7月15日現在) (胆振) 生育は平年並(早2日)。草丈は64.3cm(平年差+1.1cm)でやや長、葉数は10.4枚(平年差+1.0枚)で平年並、茎数は594.4本/m ² (平年差+0.1本)で平年並。(胆振総合振興局 7月15日現在) (日高) 7月に入り、好天が続き、生育が回復した(早2日)。草丈は64.9cm(平年差+3.5cm)で平年並、葉数は10.6枚(平年差+0.5枚)で平年並、茎数は661.7本/m ² (平年差+39.9本)でやや多。(日高総合振興局 7月15日現在) (渡島) 生育は概ね平年並に推移(幼穂形成早1日)。草丈は59.8cm(平年比99%)で平年並、葉数は10.1枚(平年比103%)で平年並、茎数は690本/m ² (平年比91%)でやや少ない。(渡島総合振興局 7月15日現在) (檜山) 生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。草丈は60.0cm(平年差-3.9cm)でやや短、葉数は10.3枚(平年差-0.1枚)で平年並、茎数は704.0本/m ² (平年差-36.9本)で平年並。(檜山総合振興局 7月15日現在) (上川) 生育の遅延は平年並となっている(遅速±0日)。草丈は65.1cm(平年比100%)で平年並、葉数は10.8枚(平年比102%)で平年並、茎数は639本/m ² (平年比95%)でやや少。(上川総合振興局 7月15日現在) (留萌) 7月後半の日照不足により生育は停滞したものの、6日以降の好天により生育は回復傾向である(遅3日)。草丈は61.5cm(平年差-0.1cm)で平年並、葉数は10.5枚(平年差+0.1枚)で平年並、茎数は487本/m ² (平年差-58本)で少。(留萌振興局 7月15日現在) (オホーツク) 生育は平年並である(遅速±0日)。草丈は66.6cm(平年比103%)で平年並、葉数は8.9枚(平年比100%)で平年並、茎数は554.0本/m ² (平年比94%)でやや少ない。(オホーツク総合振興局 7月15日現在)
青森	(生育)	・7月31日現在の水稻出穂状況は、県全体で1%となっており、生育は順調に推移している。 (青森県 8月1日付) <7月20日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が69.5cmで平年並、株当たり葉数は27.5本で平年より1.7本少なく、葉齢は12.0葉で平年より0.3葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月12日で平年と同日であった。また、「青天の霹靂」は、草丈が79.7cmで前年より11.1cm長く、株当たり葉数は27.6本で前年より2.2本多く、葉齢は11.3葉で前年より1.1葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月10日で、平年と同日。 ・十和田の「まっしぐら」は、草丈が76.4cmで平年より2.7cm長く、株当たり葉数は22.2本で平年より0.7本少なく、葉齢は12.2葉で平年より0.7葉多かった。幼穂形成期の到達日は7月8日で平年より1日早。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 7月24日)
岩手		・県全体平均の幼穂形成期は、7月12日(平年差±0日)と平年並であり、出穂期は平年より2日早い8月2日頃と見込まれる。 水稻生育診断圃(22地点、のべ37品種)の出穂期予測は、地域別では、北上川上流で8月2日(平年:8月5日)、北上川下流で8月2日(平年:8月4日)、東部で8月4日(平年:8月4日)、北部で7月31日(平年:8月6日)品種別では、いわてこまちで8月3日(平年:8月5日)、あきたこまちで8月3日(平年:8月4日)、銀のしずくで8月4日、どんびしやりで8月4日(平年:8月4日)、ひとめぼれで8月2日(平年:8月5日)、金色の風で8月3日。 (岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 7月27日付) ・7月25日現在、農業研究センター(北上)の草丈、葉色(SPAD値)は平年を上回っており、茎数は平年を下回っている。葉齢は「あきたこまち」では平年を上回っているが、「ひとめぼれ」、「銀河のしずく」は平年並となっている。また、「あきたこまち」、「銀河のしずく」は7月22日に減数分裂期を迎えている。 「ひとめぼれ」の草丈は82.1cm(平年差+7.1cm)、葉数は600本/m ² (平年比95%)、葉齢は12.0葉(平年差-0.1葉)、葉色(SPAD値)は40.6(平年差+1.1)。「あきたこまち」の草丈は82.1cm(平年差+7.2cm)、葉数は503本/m ² (平年比93%)、葉齢は12.7葉(平年差+0.6葉)、葉色(SPAD値)は43.1(平年差+1.8)。「銀のしずく」の草丈は86.7cm(平年差+8.6cm)、葉数は472本/m ² (平年比88%)、葉齢は12.0葉(平年差-0.1葉)、葉色(SPAD値)は40.5(平年差+1.2)。 ・県北農業研究所(軽米)の「いわてっこ」の草丈、葉色(SPAD値)は平年を上回っており、茎数、葉齢は平年を下回っている。また、7月21日に減数分裂期を迎えている。 草丈は71.1cm(平年差+6.8cm)、葉数は437本/m ² (平年比72%)、葉齢は11.2葉(平年差-0.2葉)、葉色(SPAD値)は39.8(平年差-0.8)。 (岩手県農業研究センター 7月26日付)
宮城		・7月31日現在、24,966ha(水稻作付見込面積の38.8%)で出穂が確認され、出穂始期(県作付見込面積の5%で出穂)は、7月29日となり、平年より3日程度早まっている。地域によっては出穂期に達しているところもある。 (宮城県 8月1日付) (仙台) 7月20日現在、生育はほぼ平年並で、生育調査ほ全地点で減数分裂期に達した。今後の気温が平年並で推移した場合、出穂期(管内全体の最盛期)は、平年より2日早い8月2日頃になる見込み。 ひとめぼれ(管内平均)の草丈は70.2cm(平年比101%)、葉数は476本/m ² (平年比103%)、葉数は12.2枚(平年差+0.4枚)、葉色(GM値)は33.0(平年差+0.5)、ササニシキ(管内平均)の草丈は74.8cm(平年比101%)、葉数は438本/m ² (平年比85%)、葉数は12.1枚(平年差-0.1枚)、葉色(GM値)は33.2(平年差-1.6)。 (宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日付) (大崎) 7月20日現在、草丈及び葉数は平年並。茎数は、北部平坦ひとめぼれ、山間高冷やまのしずく以外は平年を上回っている。葉色は西部丘陵のひとめぼれ、まなむすめは平年を下回っており、その他は平年並～上回っている。今後の気温及び平年並みで推移した場合北部平坦の出穂期は、7月28日～8月8日頃になる見込み。 (大崎農業改良普及センター 7月24日付) (美里) 管内平均出穂期は8月1日。 管内直播栽培(鉄コーティング湛水直播)展示ほ(小生田)のひとめぼれの生育概況は、草丈は84.6cm(前年比115%)、葉数は483本/m ² (前年比75%)、葉数は12.0枚(平年差±0枚)、葉色(SPAD値)は36.5(前年差+1.2)、幼穂長は30.0mm(前年差-48.3mm)、直播栽培場では減数分裂期に入っている。(美里農業改良普及センター 8月2日付) 7月20日の調査結果は、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より少ない。葉数は鹿島台ササニシキでは平年より1枚多い。葉色はひとめぼれは平年並。 7月21日現在、管内のひとめぼれの出穂期は、5月5日移植で7月29日～8月2日、5月10日移植で8月1日～6日、5月15日移植で8月4日～8日、5月20日移植で8月7日～12日の見込み。(美里農業改良普及センター 7月24日付) (栗原) 7月20日現在、ひとめぼれ(生育調査ほ3カ所平均)は、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より多く、葉数も平年より多い状況。葉色は、前回調査から急に低下し、平年より淡く、ひとめぼれの減数分裂期の期待葉色値を下回っている。幼穂長等から推測すると、ひとめぼれ等の中生品種は減数分裂期を迎えており、出穂期は平年より1～2日早まり、7月31日～8月1日頃と見込まれる。「つや姫」は幼穂形成期になっており、出穂期は8月8～9日頃と見込まれる。 (栗原農業改良普及センター 7月21日付) (登米) 7月20日現在の生育状況は、平年に比べ、草丈は平年並、葉数は多い。葉数は平年並、ほ場によりばらつきがみられる。葉色は淡い。 直播栽培は、前年に比べ、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、平年並。葉数はほ場によりバラツキがみられるが、多い。葉数は少なめ、生育はやや遅れ。葉色はやや淡め。 (宮城県米づくり推進米地方本部登米農業改良普及センター 7月24日付) (石巻) 7月20日現在の、生育調査ほの生育状況は、草丈は平年並になっている。葉数は、ひとめぼれ(広瀬)を除いて概ね平年並になっている(平年比101%～110%)。葉色(SPAD値)は、平年並からやや低くなっている。幼穂長は27～94mmと平年並となっている。5月上旬田植のほ場ではすでに減数分裂始期(幼穂長30mm)に達している。 管内の平均の出穂期は、平年並の9月2日前後と予想される。7月20日現在、7月20日現在、乾田直播展示ほの生育状況は、草丈、葉色は平年を下回っている。幼穂長は2.1mmで平年よりやや短くなっている。 (石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月25日付) (本吉) 7月20日現在、気仙沼市本吉町の生育調査ほ(ひとめぼれ)においては幼穂形成期を迎え、まもなく減数分裂期に達するとみられる。南三陸町入谷の生育調査ほ(ササニシキ)においては、減数分裂期を迎えている。 管内の生育については幼穂形成期を過ぎ、減数分裂期に達するものとみられる。管内の出穂期は8月7日から8月17日頃と予想されている。 直播栽培普及展示ほの生育概況(鉄コーティング湛水直播)では、生育は順調に進み、幼穂形成期を迎えている。 (宮城県本吉農業改良普及センター 7月25日付)

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

平年に対する遅速等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
秋 田	<p>(鹿 角) 7月14日の定点調査では、草丈は60.8cm(平年比98%)と平年並、茎数は590本/m²(平年比100%)と平年並、葉数は11.0葉(平年並-0.1葉)と平年並、葉色は46.2(平年比114%)と平年より濃い結果。(7月21日付)</p> <p>(北秋田) 7月来の出穂状況は3.4%となっており、平年より遅れている。葉いもちの発生ほ場が散見され、穂いもちへの移行が懸念される。(8月3日付)</p> <p>(山 本) 7月14日現在の管内水稲定点調査ほ(管内9地点、品種:あきたこまち)の生育は、草丈60.9cm(平年比96%)、茎数51本/m²(平年比96%)、葉数11.0葉(平年並-0.1)、葉色(SPAD値)43.6(平年比105%)となっている。(7月14日付)</p> <p>(秋 田) 7月14日現在の定点調査ほ(あきたこまち:10地点平均)の草丈は62.5cm(平年比95%)で平年より短く、1m当たりの茎数は471本(平年比93%)で平年より少なく、葉色(葉緑素計値)は平年よりやや濃くなっている。葉数は10.9葉(平年並-0.4葉)で、平年よりやや少なくなっている。(7月21日付)</p> <p>(由 利) 7月25日の水稲定点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は72.3cmと平年並(平年比99%)、mあたり茎数は495本でやや少なく(平年比94%)となっている。今後の気温が平年並で推移すれば管内全体での出穂期は平年より2日遅い8月7日頃になると見込まれる。(7月28日付)</p> <p>(仙 北) 7月25日現在の生育状況は、草丈74.3(平年比101%)、茎数481本/m²(平年比101%)、葉数11.9葉(平年並-0.2葉)、葉色40.6(平年比107%)で葉数から見ると、生育は平年並となっている。(7月28日付)</p> <p>(雄 勝) 7月5日現在の定点調査ほ(あきたこまち8か所)の生育は草丈41.0cm(平年比83%)、茎数432本/m²(同83%)、葉数9.7葉(同-1.1葉)、葉色(SPAD値)46.8(同103%)となっている。草丈は平年より短く、茎数は依然として平年より少ない状況。葉数から見た生育は平年と比べ1日遅れとなっている。(7月7日付)</p>	<p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多い、紋枯病は平年並、セジロウカ、フタオビコヤガはやや少ない、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)は多い、フタオビコヤガはやや少ない、アワユトウは多いと予想(秋田県病害虫防除所 7月28日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想(農林水産省 7月26日付)</p>
山 形	<p>・幼穂の発育状況から見た出穂は、「はえぬき」「つや姫」いずれも平年並と見込まれ、平担部「はえぬき」では8月4日頃、「つや姫」では8月11日頃と見込まれる。(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月28日付)</p> <p>(東南村山) 管内出穂期は、はえぬきが8月4日頃、つや姫が8月10日頃となる見込み。(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月31日付)</p> <p>7月20日現在、「つや姫」調査圃7ヶ所平均値の草丈、葉数はほぼ指標値並で、茎数はやや多く、葉色は濃い状況。出穂は平年並(8月9日)の見込み。(山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部 村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(東南置賜) 出穂期は概ね平年並みとなる見込み。(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 8月2日付)</p> <p>(酒田飽海) 7月10日現在、はえぬきの草丈は「平年並」、茎数は「やや多く」、葉数は「平年並」、葉色は「濃い」。ひとめぼれは、草丈は「やや短く」、茎数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。つや姫は、草丈は「短く」、茎数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。低温で少く推移していた茎数は、「平年並」から「やや多く」まで回復している。葉色は、今回の調査では、やや濃いもの「しっかりと中干し」で低下傾向。直播栽培は、引き続き生育量は不足。水田農業試験場(鶴岡市藤島)の幼穂調査によると、出穂は中生晩品種(ひとめぼれ、はえぬき)、晩生品種(つや姫、コンヒカリ)いずれも平年より1~2日遅いと予想。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日付)</p> <p>(北 村 山) 生育は、草丈は平年並、茎数はやや多く、葉色はやや濃い傾向にある。ひとめぼれは、草丈は平年並と予想。平担部「はえぬき」8月7~9日、「つや姫」8月10~13日。(オールやまがた米づくり日本一運動 村山地域本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 7月19日現在、藤島にある水田農業試験場の調査では、出穂期は中生晩の「ひとめぼれ」、「はえぬき」は8月4日、晩生の「つや姫」、「コンヒカリ」は8月12日、平年より1~2日遅いと予想。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日付)</p> <p>(最 上) 7月20日現在、生育診断圃「はえぬき」の生育は、草丈が平年並、茎数がやや多く、葉色がやや濃く推移している。出穂期は平年より3日程度遅れる見込み。依然として生育のほ場間差が大きい。(最上総合支庁農業技術普及課 7月26日付)</p> <p>(西 村 山) 6月上中旬の低温の影響で生育がやや遅れていたが、7月の天候が高温・多照傾向であったことから生育も回復し、全般には平年並に出穂を迎える見込み。(JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想(農林水産省 7月26日付)</p> <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちと紋枯病はやや少、斑点米カメムシ類とアワユトウは多いと予想(山形県病害虫防除所 7月26日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生量が県下全域で多いと予想。7月後半(7月18日~19日)に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査(調査地点数:44か所)の結果、発生確認地点率は95.5%(平年:66.8%)と広範囲で発生が確認され、過去10か年で最も高い。(山形県病害虫防除所 7月20日公表)</p>
福 島	<p>(生育) ・7月4日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈が平年より短く、茎数は平年より多くなっている。他の形質では、本郡(郡山)の主稈葉数は平年より少なく、葉色は平年並から濃く、会津地域研究所(会津坂下)の主稈葉数は平年並、葉色は平年より濃く、浜地域研究所(相馬)の主稈葉数は平年並と葉色は平年並となっている。</p> <p>・主稈出葉からみた生育は、本郡(郡山)では平年より4~7日遅れている。一方、5月1日移植の天のつとひとめぼれは、7月3日に幼穂長1mmの茎数が本確認されており、幼穂形成初期は平年よりやや遅い程度になると予想される。会津地域研究所(会津坂下)と浜地域研究所(相馬)の生育は平年並。(福島県農林水産部 7月7日付)</p>	<p>・穂いもちの発生量は平年並、紋枯病はやや多い、稲こうじ病は平年並、斑点米カメムシ類の発生量ははやや多いと予想(福島県病害虫防除所 7月21日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想(農林水産省 7月26日付)</p>
茨 城	<p><水戸市 7月28日現在></p> <p>・5月1日移植 「あきたこまち」の出穂期は7月16日で平年並。「コンヒカリ」の出穂期は7月23日で平年より3日早い。</p> <p>・5月10日移植 「コンヒカリ」の出穂期は7月27日で平年より4日早い。(茨城県農業総合センター農業研究所 7月31日付)</p> <p>(生育) <龍ヶ崎市 7月19日現在></p> <p>・4月27日移植 「あきたこまち」は、出穂期が7月8日で平年より5日早い。「コンヒカリ」は、7月14日時点で、幼穂長が163.5mmであり、幼穂長から予測される「コンヒカリ」の出穂期は、平年より2日早い7月21日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。両品種の生育は、草丈は「あきたこまち」で平年並、「コンヒカリ」でやや長く、葉色は両品種とも平年並。</p> <p>・5月8日移植 「あきたこまち」は、出穂期が7月16日で平年より1日早い。「コンヒカリ」は、7月18日時点で、幼穂長が186mmであり、幼穂長から予測される「コンヒカリ」の出穂期は、平年より4日早い7月24日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。両品種の生育は、草丈は両品種とも平年より長く、葉色は「あきたこまち」で平年並、「コンヒカリ」で平年より濃い。(茨城県農業総合センター農業研究所 7月21日付)</p>	<p>・8月の穂いもちの発生量ははやや少ない、斑点米カメムシ類の発生量は多いと予想(茨城県病害虫防除所 7月31日公表)</p> <p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 7月12日付)</p>
栃 木	<p>(生育) <早稲栽培コンヒカリ(16か所平均)7月20日調査結果></p> <p>・草丈は長い(平年比107%)。茎数はやや少なく(95%)、葉色はやや濃い(-0.2)ため、生育診断値(葉色×茎数)は小さい(90%)。葉数はやや多く、幼穂長は16.8cmで平年より8.5cm長い。幼穂長から予測すると、出穂期は、7月26日で平年(8月2日)より7日早い。</p> <p><普通稲栽培(あさひの夢)7月20日調査結果></p> <p>・草丈は54.9cmで平年比98%とやや低く、茎数は532本/m²で平年より多いが、地域によりばらつきがある。葉数は10.5で平年より0.3葉多く、葉色は4.3で平年より0.5濃い。生育診断値(葉色×茎数)は2,302で平年比102%とやや大きい。(栃木県農政経営技術課 7月25日付)</p>	<p>・一部地域で穂いもちの多発生のほ場や進展型病斑が確認されている。感病好適条件が7月第5~6半旬に連続して見られる地域もあり、いもち病の多発生が懸念される。(栃木県農業環境指導センター 8月3日公表)</p> <p>・7月下旬~8月下旬のいもち病の発生量は平年並、綿葉枯病の発生量ははやや多、斑点米カメムシ類は多いと予想(栃木県農業環境指導センター 7月21日公表)</p> <p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 7月12日付)</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
埼玉	<p><センター内生育相 7月5日現在></p> <ul style="list-style-type: none"> 早期栽培（5月2日植 コシヒカリ）は、好天により概ね順調な生育である。莖数は、高温により平年を上回って推移し過繁茂が懸念されたが、中干しが良好に実施できたため、普通莖の発生が抑えられ、移植後60日調査では概ね平年並となっている。草丈は平年並に推移していたが、中干し後、伸長が抑えられ、平年より1割程度短く推移している。幼穂分ちも早く、7月1日時点で幼穂長が4～5mm程度（平年値：0.1mm）であり、出穂期は平年（平年値：7月26日）より1週間程度早まると予想される。 早植栽培（5月19日植 彩のかがやき）は、強風により葉が傷み、初期生育はやや抑制気味であった。莖数は移植後20日調査では平年を大きく上回っていたが、以降、好天により回復し、平年を上回って推移している。草丈は平年より1割程度短く推移している。葉位の進展は速く、移植後40日調査では平年より1枚近く進んでいる。 普通栽培（6月26日植 キヌヒカリ）は、好天により活着は良好である。 <p><県内全般 7月5日現在></p> <ul style="list-style-type: none"> 早期栽培では生育は進んでおり、中干しは概ね順調に行われた。幼穂の分化は5～7日程度早まっている。 早植栽培の生育は、コシヒカリや彩のきずななどの中早生品種では数日早まっている。彩のかがやきなどの晩生品種では平年並からやや早まっている。 普通栽培の生育は、活着が良好で初期生育も概ね順調である。 <p>（埼玉県農業技術研究センター 7月5日現在）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 8月の病害虫の発生量は、種いもちはやや少、紋枯病は多、もみ枯病、ヒメトビウカ、稲葉枯病、セジロウカはやや多、イネアオムシ（第2世代幼虫）はやや少、イネアオムシは平年並、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類は平年並と予想（埼玉県病害虫防除所 7月27日公表） 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付）
千葉	<ul style="list-style-type: none"> 7月に入り、気温は平年より高く推移し、全体的に生育の進みはやや早くなっている。 4月20日頃に播付した「ふさおとめ」「ふさこがね」「コシヒカリ」の出穂期は、平年と比較して2日から3日程度早くなっており、成熟期は早いところで「ふさおとめ」は8月11日頃から、「ふさこがね」は8月16日頃から、「コシヒカリ」は8月24日頃からと予測される。 また、5月1日頃に播付した「コシヒカリ」の出穂期は3日程度早くなっており、成熟期は早いところで8月29日頃からと予測される。 <p>（千葉県農林水産部 7月28日付）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付） 向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病（種いもち）は少、紋枯病は平年並、ごま葉枯病は多、大型カメムシ類は平年並、カスミカメムシ類はやや多、イネウロカメムシはやや少、セジロウカは平年並、ヒメトビウカとフタオビコヤガはやや多、イモンジゼリは平年並の予想（千葉県農林総合研究センター 7月12日公表）
新潟	<ul style="list-style-type: none"> 7月31日現在、出穂期は県平均で、こしいぶきでは平年並の7月30日、コシヒカリでは平年並の8月6日頃の見込み。コシヒカリの生育は、指標値に比べて草丈は「並」、莖数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の状況。 <p>（新潟県農林水産部 8月1日付）</p> <p>（岩 船）7月31日現在、コシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は並、莖数は並、葉数は並、葉色は並。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は87cm（指標比103%）、葉数は374本/m²（指標比99%）、葉数は13.0葉（指標差+0.2葉）、葉色（SPAD値）は33.6（指標差+0.6）。</p> <p>（村上農業普及指導センター 7月13日現在）</p> <p>（新発田）コシヒカリの生育概況（7月31日調査）は、草丈は88cm（指標比104%、並）、葉数は394本/m²（指標比107%、やや多）、葉数は13.2葉（指標差+0.4葉、やや多）、葉色は葉緑素計33.5（指標差+0、並）、指標値に比べ、草丈は並、葉数やや多、葉色は平年並に落ち寄っている。</p> <p>出穂期は、止葉の葉間長調査から平年並の予想（6月10日頃移植～8月8日）。</p> <p>（新発田農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（新潟 湯）7月31日現在、コシヒカリは草丈「並」、莖数「並」、葉数の進み「並」、葉色「やや濃」、管内47地点の平均では、葉色は指標値「並」だが、特に基肥一発体系で指標値を下回っているほ場が多く見られる。</p> <p>コシヒカリ（調査地点9）の草丈は89cm（指標比101%）、葉数は357本/m²（指標比96%）、葉数は13.0葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は34.6（指標差+1.6）、新之助（調査地点3）の草丈は72cm（指標比97%）、葉数は404本/m²（指標比84%）、葉数は13.7葉（指標差+0.7葉）、葉色（SPAD値）は33.5（指標差-0.5）。</p> <p>新之助の出穂期は8月12日の見込み。</p> <p>（新潟農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（巻）草丈、莖数、葉数、葉色はすべて指標値並、種肥の実施等により葉色は指標値並のほ場が多い。連休後のコシヒカリは走り穂がでて、5/10以降田植えでは、出穂期は8月6日頃になると見られる。</p> <p>（巻農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（三 条）7月31日の調査結果（管内コシヒカリ35か所）は、草丈は93cm（指標比106%）、葉数は385本/m²（指標比101%）、葉数は13.0葉（指標差±0葉）、葉色SPADは34.5（指標差+0.4）、種肥施用等により、葉色が回復し指標値並となっている。出穂期がやや早まり、こしいぶきで平年並となったが、地域差・ほ場差が大きい。管内のコシヒカリの出穂期は8月4日頃（平年並）と見込まれる。（三条農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（長 岡）7月31日現在、コシヒカリの草丈、葉色（SPAD値）は指標値並であるが、一部で葉色の濃いほ場がある。出穂期は、5月10日移植で8月5日頃と推測され、平年並の見込みである。移植の早いほ場では、既に出穂が確認されている。</p> <p>（長岡農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（魚 沼）7月31日のコシヒカリ生育調査結果（4地点平均値）は、草丈89cm（指標比105%）、葉数375本/m²（指標比94%）、葉数13.1葉（指標差+0.6葉）、葉色（SPAD値）34.0（指標差+0.5）、指標値に比べ、草丈はやや長い、葉数はやや少ない、葉色はやや早い、葉色は並。</p> <p>（魚沼農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（南魚沼）7月25日現在の生育状況（管内調査地点のコシヒカリの平均）は、草丈は78cm（指標比99%）、葉数は394本/m²（指標比104%）、葉色（SPAD値）33.8（指標差+1.3）、葉数は12.4葉（指標差+0.3葉）。</p> <p>ほ場ごとのバラツキが大きく、倒伏や栄養過剰の懸念があるほ場が見受けられる。</p> <p>（南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 7月27日付）</p> <p>（十日町）7月31日現在のコシヒカリの生育状況は、指標値と比較して、草丈、葉数は並、種肥が施用されたほ場は、葉色が維持され、指標値に対して「並～やや濃い」生育。一方、5月末以降に移植されたほ場は、葉色の低下が顕微鏡で速く推移している。出穂期は平年並。</p> <p>（十日町地域農業振興協議会・魚沼米振興部会 7月31日付）</p> <p>（柏 崎）7月31日現在、こしいぶきとコシヒカリの生育は順調。指標値と比較して、草丈は並、葉数は並～やや多い、葉数は並、こしいぶきの葉色は濃く、こしいぶきは平年並。</p> <p>こしいぶき（3カ所平均）の生育状況は、草丈は94cm（指標比106%）、葉数は393本/m²（指標比103%）、葉数は12.9枚（指標差+0.4枚）、葉色（SPAD）は38.8（指標差+2.8）。コシヒカリ（6カ所平均）の生育状況は、草丈は90cm（指標比100%）、葉数は407本/m²（指標比110%）、葉数は13.2枚（指標差+0.4枚）、葉色（SPAD）は31.8（指標差-0.2）。出穂期は、こしいぶきは7月27日、コシヒカリは8月6日の見込み。</p> <p>（柏崎農業普及指導センター 8月1日付）</p> <p>7月31日現在の新之助の生育状況は、莖数、葉色はほ場差がある。生育は前回の調査時より2日程度早い。出穂期は、管内平均で8月10日頃の見込み。</p> <p>生育状況（3カ所平均）は、草丈は80cm、葉数は480本/m²、葉数は13.6枚、葉色（SPAD）は34.5。</p> <p>（柏崎農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（上 越）7月31日現在のコシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は長い（指標比111%）、葉数は多い（指標比122%）、葉数は並（指標差+0.3葉）、葉色（SPAD値）はやや濃い（指標差0+1.0）。葉色は、種肥施用により維持されている。出穂期は平年並から1日程度早いと見込まれる。（5/10～15の田植では8/3～4頃が出穂期の見込み）</p> <p>「こしいぶき」は平年並に出穂している（5/10～15の田植では7/30頃が出穂期）。葉数は多く、葉色は濃くなっている。</p> <p>（上越農業普及指導センター 7月31日付）</p> <p>（糸魚川）7月31日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2～22日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は並、葉数は多い、葉数は並、葉色は濃い。現時点で穂ばらみ期～出穂期のほ場が多く、平年並の出穂期となる見込み。</p> <p>出穂期は概ね平年並、前年比比べ3日程度遅くなる見込み。出穂期予想（調査地）は、5月5日移植では8月3日頃、5月10日移植では8月5日頃、5月21日移植では8月11日頃の見込み。</p> <p>葉色は、種肥の効果で前回調査から濃くなっている。一部、河川沿いの低地力ほ場等で葉色の濃いほ場がみられる。</p> <p>（糸魚川地域農業振興部 8月1日付）</p> <p>（佐 渡）7月31日現在の生育状況（品種：コシヒカリ、拠点ほ場8か所の平均）は、草丈は87cm（指標比102%）、葉数は372本/m²（指標比98%）、葉数は13.3葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は31.8（指標差-2.2）。出穂期は、こしいぶきは8月2日、コシヒカリは8月8日と予想される。</p> <p>（佐渡農業普及指導センター 7月31日付）</p>	

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
富山	<p><生育観測ほデータ（7月18日現在）></p> <p>（コンヒカリ）葉齢は平年並となっており、草丈、葉色は平年並、茎数は多く推移している。幼穂形成期は、平年並の7月12日となった。出穂期は、平年並の8月3日頃と見込まれる。草丈は80.7cm（平年比100%）、茎数は506本/m²（平年比112%）、葉齢は13.1（平年差+0.1）、葉色（SPAD値）は33.5（平年差+0.7）。</p> <p>（てんこもり）葉齢は平年よりやや進んでおり、草丈、葉色は平年並、茎数はやや多く推移している。幼穂形成期は、平年より2日早い7月13日となった。出穂期は、平年より2日早い8月5日頃と見込まれる。草丈は71.8cm（平年比98%）、茎数は584本/m²（平年比105%）、葉齢は14.2（平年差+0.2）、葉色（SPAD値）は36.0（平年差+1.0）。</p> <p>（てんたかく）5月5日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日遅い7月23日頃と見込まれる。成熟期は、平年より1日遅い8月28日頃と見込まれる。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p> <p><直播栽培の生育状況（7月18日現在）></p> <p>・湛水直中直播栽培（カルバー）は、葉齢は平年並となっており、草丈、茎数、葉色とも平年並に推移している。幼穂形成期は、平年より1日早い7月16日であった。出穂期は、平年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）は、近年に比べ葉齢はやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、近年より1日早い7月17日頃と見込まれる。出穂期は、近年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・乾田V溝直播栽培は、平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月19日頃と見込まれる。出穂期は、平年より2日早い8月10日頃と見込まれる。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p>	<p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少ない、紋枯病はやや多い、こま葉枯病は多いと予想 斑点米カメムシ類のアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメはやや多い、トゲシラホシカメシは平年並と予想 ニカメイガ（第2世代）、ヒメトビウカ、セジロウカは平年並、ツマグロヨコバイはやや多い、トビイロウカ、イネアオムシは少ないと予想 （富山県農林水産総合技術センター 7月28日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
石川	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は、コンヒカリは、加賀地域は7月23日から出穂が見られており、7月24日～30日頃と予想され、平年に比べ2～3日程度早い。能登地域では、現在（7/28）出穂が始まっている圃場もみられ、7月29日～8月3日頃と予想され、平年並～2日程度早い。 ・草丈は、コンヒカリで平年比101%（加賀地域101%、能登地域102%）と並。 ・mあたりの茎数は、コンヒカリは、401本/m²で平年比103%（加賀地域103%、能登地域101%）と並になっており、すでに出穂期を迎えている圃場が多いことから、穂数は平年並に確保される見込みである。 <p>（農林総合研究センター 7月28日調査）</p>	<p>・8月上旬～8月下旬の病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類は多、セジロウカ、コブノメイガは平年並、ツマグロヨコバイは多と予想 （石川県農林総合技術センター 8月3日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
福井	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月13日現在、移植のコンヒカリは草丈がやや短く、茎数はやや多い。7月10日前後に幼穂形成期を迎えている。移植のハナエチゼンば出穂期を迎えようとしている。 （水田農業レベラアップ委員会技術普及部会 7月14日付） 	<p>・8月の病害虫の発生量は平年と比較して、穂いもちは少ない、紋枯病はやや少ない、こま葉枯病は少ないと予想 斑点米カメムシ類、ツマグロヨコバイ（第2世代）、トビイロウカは平年並、セジロウカは少ない、フタオビコヤガ第3世代はやや多く、コブノメイガ、コバネイナゴは少ないと予想 （福井県農業試験場病害虫防除室 7月31日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
長野	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊科定点圃場のあきたこまち・美山錦は平年並に、コンヒカリは平年より4日早く幼穂形成期を迎えた。コンヒカリの生育は、平年より4日程度進んでいると思われる。7月20日現在の出穂期予測では、コンヒカリは出穂期で「平年より4日早い」と推定されている。あきたこまちは、7月下旬～8月初旬に出穂～穂揃い期を迎えると思われる。コンヒカリでは、5月の連休中に田植えされたものは、7月末から出穂期を迎えると推定される。 （松本農業改良普及センター 平成29年度 作物技術普及情報 第11号） ・7月9日～19日の調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八森（標高348m））の幼穂形成期は、平年に比較して「あきたこまち」で2日遅く、「コンヒカリ」で3日早い。 （長野県農業試験場 7月19日） ・7月18日の調査の結果、農業試験場原村試験地（標高1,017m）の移植後50日調査では、「ゆめしなの」が平年並、「あきたこまち」が平年より1日早い幼穂形成期となった。全品種草丈は平年並に近づき、茎数はかなり回復したが、平年までは戻っていない。「ゆめしなの」の主稈葉数は10.6枚（平年差+0.5枚）、草丈は69cm（平年比99%）、茎数は471本/m²（平年比81%）。「あきたこまち」の主稈葉数は11.5枚（平年差+1.2枚）、草丈は56cm（平年比93%）、茎数は519本/m²（平年比85%）。 （長野県農業試験場 7月18日調査） 	<p>・7月15日からの向こう1か月間、葉いもちの発生量はやや少、紋枯病、ツマグロヨコバイ、イネアオムシは平年並～やや多、セジロウカ、イネトムシは平年並、カメムシ類はやや多いと予想 （長野県病害虫防除所 7月18日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
滋賀	<p>（生育）</p> <p><農業技術振興センター 水稲作況調査（7月20日時点）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、生育が早まっていることもあり、「コンヒカリ」では平年よりやや長く、「秋の詩」では平年並までになった。 ・茎数は、商品種ともに平年より多かった。 ・葉数は、商品種ともに平年並であった。 ・「コンヒカリ」の幼穂形成期は7月2日で平年より3日早く、出穂期は7月25日で平年より4日早かった。 ・「秋の詩」の幼穂形成期は7月11日で平年より7日早く、過去10年で最も早かった。 <p><「みずかがみ」の生育状況（7月25日時点）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月2日移植では、出穂期は7月17日、成熟期は8月18日（予想）。 ・5月17日移植では、出穂期は7月25日、成熟期は8月26日（予想）。 <p>（滋賀県農業技術振興センター 7月27日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病、白葉枯病は平年並、ニカメイガ（Ⅱ）、ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガはやや少、セジロウカは少、斑点米カメムシ類はやや多いと予想 （滋賀県病害虫防除所 7月19日公表）</p>
兵庫	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日現在、県南部の生育は、草丈は平年より長く、茎数は平年並～やや多い。出穂は平年よりやや早くなる見込みである。 県北部では、生育は、草丈は平年より短く、茎数がかなり多い。出穂はコンヒカリで平年より1週間程度早い。 （兵庫県農政環境部 7月31日付） 	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月21日からの向こう1か月間のいもち病、紋枯病、もみ結菌菌病、セジロウカ、斑点米カメムシ類、コブノメイガの発生量は平年並 綿葉枯病は平年並（一部でやや多）、ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイ、イネトムシはやや多、トビイロウカ、フタオビコヤガはやや少の予想 （兵庫県病害虫防除所 7月21日公表）</p>
岡山	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月28日現在の生育状況は、中北部（標準生・品種）では、出穂期は平年並～やや早い、穂数は平年並だが、高冷地ではやや少なめ。登熟期の高温が予想され、收穫期の前進が見込まれる。 南部（中生・晩生品種）では、7月に入って高温で推移したことから、播種に「分けつ」が増加し、茎数は平年並。現在、中生品種を中心に幼穂形成期を迎えており、出穂期の前進が予想される。 （岡山県農林水産総合センター 岡山県農業気象技術連絡会議 7月28日付） 	<p>・出穂期以降県下全域で、斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生量が多いと予想 （岡山県病害虫防除所 7月27日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもちは平年並、紋枯病はやや多、ヒメトビウカ、綿葉枯病は平年並、ツマグロヨコバイ、セジロウカはやや少、ニカメイガ、トビイロウカ、斑点米カメムシ類は平年並と予想 （岡山県病害虫防除所 7月3日公表）</p>
広島	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月下旬～8月上旬の病害虫の発生量は、穂いもち（北部・中部の早生）は平年並、紋枯病は早生は平年並で中生は多、セジロウカはやや少、斑点米カメムシ類（早生）は平年並、ヒメトビウカはやや多、トビイロウカ、フタオビコヤガ、コブノメイガは平年並と予想 （広島県西部農業技術指導所 7月28日付） ・県南部、県中東部及び県中西部では、紋枯病の発生が多い。 （広島県農林水産局 8月1日付） 	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>
山口	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月移植のコンヒカリ・ひとめぼれでは、出穂期～穂揃い期以降になっている。出穂予想は、6月上旬移植のきめむすめが8月19日頃、6月上旬移植のヒノヒカリが8月26日頃の見込み。好天により、生育は早まっている。 （JA長門大津、長門農林事務所農薬部 8月1日付） 	<p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多、紋枯病は平年並、セジロウカ、トビイロウカ、コブノメイガはやや少、斑点米カメムシ類は多と予想 （山口県病害虫防除所 8月1日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 （農林水産省 7月26日付）</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
愛 媛	<p>(生育) ・8月は、早期コシヒカリ、短期あきたこまちは登熟期となる。普通期水稲は、幼穂形成期から出期を迎える。 (愛媛県農林水産研究所 8月1日)</p>	<p>・8月の病害虫の発生量は、早期栽培の穂いもちりは少、普通期栽培の葉いもちりはやや少、紋枯病、穂こじ病はやや少～平年並と予報。 ソマクロヨコバイ、イチモンジセセリ（イネツトムシ・第2世代）、コブノメイガはやや少、セジロウシ、フタオビコヤガはやや少～平年並、トビイロウンカは平年並、斑点米カメムシ類はやや多と予報 (愛媛県 7月31日公表)</p> <p>・四国で縹葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p>
高 知	<p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『やや良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p> <p>(生育) <早期水稲の生育状況(6月30日時点)> 平年より早く最高分けつ期を迎えた。出穂期は、4月5日植え‘南国そだち’は6月19日であった。また、‘コシヒカリ’の出穂期は、4月5日植えが6月30日と平年より2日早かった。4月14日植えは平年並と予測。</p> <p><普通期栽培の生育状況(6月30日時点)> 普通期栽培では、例年どおり6月3日に‘ヒノヒカリ’を移植した。草丈が平年よりも低く、茎数が平年よりも多くなっている。葉齢でみた生育進捗は平年より早くされており、順調に生育している。 草丈は40.8cm(平年値41.1cm)、茎数は391本/m²(平年値361本)、葉齢は8.6(平年値8.3) (高知県農業技術センター)</p>	<p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちりは少、こま葉枯病は多、ソマクロヨコバイは県西部で多、県東部と県中西部でやや多、県中央部で平年並と予報。 ヒメトビウンカは、県中西部、県西部で多、県中央部でやや多、県東部で少と予報。 セジロウシ、トビイロウンカは少と予報 (高知県病害虫防除所 8月3日公表)</p> <p>・四国で縹葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p>
福 岡	<p>(生育) ・7月25日現在における水稲の生育は、草丈は平年より9～21%高く、茎数は調査場所により異なり、農産部(筑紫野市)では5～9%少なく、筑後分場(三瀬郡大木町)では18～24%多かった。主稈葉数は平年より0.7～0.9葉多く、生育は進んでいる。 (福岡県 福岡県米麦品質改善協会 7月27日付)</p>	<p>・8月の病害虫の発生量は、葉いもちりは少、セジロウシはやや少、トビイロウンカはやや多、コブノメイガは少と予報 (福岡県病害虫防除所 8月1日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p>
熊 本		<p>・8月の病害虫の発生量は、早植え水稲一種いもちりはやや少、トビイロウンカは並、斑点米カメムシ類は並、紋枯病はやや少と予報 早植え・普通期水稲—コブノメイガはやや少と予報 普通期水稲—葉いもちりはやや少、トビイロウンカは平年並、紋枯病は並と予報 (熊本県病害虫防除所 7月31日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p>
宮 崎	<p>(生育・作柄) ・普通期水稲は分けつ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月28日公表)</p> <p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p>	<p>・向こう1か月間の普通期水稲の病害虫の発生量は、葉いもちり、紋枯病は平年並、ソマクロヨコバイはやや多、セジロウシは少、トビイロウンカは並、ヒメトビウンカはやや多、コブノメイガはやや少と予報 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月28日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p>
鹿 児 島	<p>(作柄) ・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月26日付)</p> <p>・8月の病害虫の発生量は、普通期水稲の葉いもちり、穂いもちり、トビイロウンカはやや多、紋枯病は平年並、コブノメイガはやや少と予報。(鹿児島県病害虫防除所 7月27日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		生産数量目標			参考			
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（28期）			
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 8月5日～9月4日の1か月間は、気温は高い見込み。特に、期間の前半は東日本以西では気温がかなり高く、北日本でもかなり高くなる所がある見込み。 降水量は、北・東日本ではほぼ平年並、西日本では多い見込み。 日照時間は、北・東日本太平洋側、西日本では、平年並か少ない見込み。 北・東日本日本海側ではほぼ平年並の見込み。 （気象庁 8月3日発表） （8～10月の3か月間の見通し） 向こう3か月の気温は高い見込み。東・西日本では、向こう3か月の降水量は、平年並か少ない見込み。北日本は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁 7月25日発表） 	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の8月5日～9月4日の1か月間は、平均気温は、日本海側で平年より高く、オホーツク海側と太平洋側で平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 日照時間は、日本海側とオホーツク海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並か少ない見込み。 （札幌管区気象台 8月3日発表） 	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の8月5日～9月4日の1か月間は、気温は高い見込み。東北日本海側では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性がある。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 日照時間は、日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並か少ない見込み。 （仙台管区気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方日本海側では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.7℃以上） （仙台管区気象台 8月3日発表） 東北地方は、8月2日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 8月2日発表） 	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 8月2日発表、8月3日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 8月2日発表、8月3日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 8月2日発表、8月3日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 8月2日発表、8月3日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 8月2日発表、8月3日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、8月9日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.7℃以上） （気象庁 8月3日発表） 鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 8月3日発表） 鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 渡良瀬川では、6月23日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 	4	▲ 295,504	▲ 100.0	291,531	295,300	102	
埼 玉	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 8月3日発表） 荒川では、7月21日から20%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 8月3日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の8月5日～9月4日の1か月間は、気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （新潟地方気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北陸地方では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.3℃以上） （新潟地方気象台 8月3日発表） 北陸地方は、8月2日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 8月2日発表） 	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 8月2日発表、8月3日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 8月2日発表、8月3日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 8月2日発表、8月3日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、8月9日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.7℃以上） （気象庁 8月3日発表） 	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、太平洋側では多く、日本海側では平年並か多い見込み。日照時間は、平年並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 中国地方では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.5℃以上） （大阪管区気象台 8月3日発表） 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 8月3日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中国地方の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなり、向こう1か月を平均した気温も高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （広島地方気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 中国地方では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.8℃以上） （広島地方気象台 8月3日発表） 	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 8月3日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半を中心に気温がかなり高い見込み。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方（山口県含む）では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.5℃以上） （福岡管区気象台 8月3日発表） 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> 四国地方の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 四国地方では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.5℃以上） （高松地方気象台 8月3日発表） 石手川では、7月1日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。吉野川では、6月17日から20%の取水制限（農業用水）が実施されている。 （国土交通省 7月24日現在） 	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 8月3日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半を中心に気温がかなり高い見込み。向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方（山口県含む）では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.5℃以上） （福岡管区気象台 8月3日発表） 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 8月3日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> 九州南部の8月5日～9月4日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 8月3日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州南部地方では、8月8日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.1℃以上） （鹿児島地方気象台 8月3日発表） 	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 8月3日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料)：

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産米の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第5号(農林水産省 7月26日)
平成29年度産米の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月27日)

農作物の生育状況 7月15日現在(北海道 7月20日)、農作物生育状況 7月15日現在(北海道空知総合振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道石狩振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道後志総合振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道胆振総合振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道日高振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道渡島総合振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道檜山振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道上川総合振興局 7月20日)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在(北海道留萌振興局 7月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月20日)、
平成29年度病害虫発生予報第11号8月予報(北海道病害虫防除所 7月27日)、
7月31日現在水稲出穂状況(青森県 8月1日)、

H29水稲作況(7月20日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月24日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(8月予報)(青森県病害虫防除所 7月26日)、
農作物技術情報第5号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 7月27日)、
平成29年度水稲生育定期調査結果No.6(7月25日現在)(岩手県農業研究センター 7月26日)、
平成29年度農作物病害虫発生予報第5号(8月予報)(岩手県病害虫防除所 7月27日)、
平成29年度産米の出穂状況について(7月31日現在)(宮城県農林水産部 8月1日)、
仙台稲作情報第6号(宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日)、
平成29年度産米里地区の稲作情報第7号(宮城県美里農業改良普及センター 8月2日)、
平成29年度産米里地区の稲作情報第6号(宮城県美里農業改良普及センター 7月24日)、
登米地域の稲作通信第7号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月24日)、
栗原の稲作通信平成29年第6号(栗原農業改良普及センター 7月21日)、
平成29年度大崎稲作情報第4-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月24日)、
稲作情報(Vol.6)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月25日)、
平成29年度産米仙沼・南三陸稲作情報第7号(宮城県本吉農業改良普及センター 7月25日)、
平成29年度発生予報第7号-水稲(宮城県病害虫防除所 7月21日)、
生育状況の概況(秋田県ホームページ「まちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月3日)、
平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(8月予報)(秋田県病害虫防除所 7月28日)、
米づくり技術情報No.8(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月28日)、
おいしい米づくり情報第9号(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月31日)、
おきたま米づくり情報No.7(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 8月2日)、
つや姫通信第6号(村山総合支庁農業技術普及課 7月21日)、
稲作だより～第8号～(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部(北村山農業技術普及課 7月21日)、
つや姫だより第3号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日)、
おいしい米づくり情報第11号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日)、
稲作だより第9号(オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部 最上総合支庁農業技術普及課 7月26日)
稲作だより第7号(JAさがえ西村山JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第8号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日)、
平成29年度農作物有害動物発生予報第5号(8月)(山形県病害虫防除所 7月26日)、
平成29年度農作物有害動物発生予報第1号(山形県病害虫防除所 7月20日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第4号(福島県農林水産部 7月7日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(7月)(福島県病害虫防除所 7月21日)、
農研速報 水稲の生育状況(7月28日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 7月31日)、
農研速報 水稲の生育状況(7月19日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 7月21日)、
病害虫発生予報8月号(茨城県病害虫防除所 7月31日)、
平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.5(早植栽培、普通植栽培7月20日調査結果)(栃木県 7月25日)、
植物防疫ニュース(速報No.7)(栃木県農業環境指導センター 8月3日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(栃木県農業環境指導センター 7月21日)、
平成29年度水稲の生育概況vol.2(平成29年7月5日現在)(埼玉県農業技術研究センター 7月5日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(8月予報)(埼玉県病害虫防除所 7月27日)、
水稲の生育状況と当面の対策第6報(千葉県農林水産部 7月28日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(千葉県農林総合研究センター 7月12日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第8号)(新潟県農林水産部 8月1日)、
H29岩船米生育速報(7月31日現在)(村上農業普及指導センター 7月31日)、
新発田地域水稲生育速報No.8(新発田農業普及指導センター 7月31日)、
稲作速報No.8(新潟農業普及指導センター 7月31日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 7月31日)、
FAX稲作情報No.11(三谷農業普及指導センター 7月31日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 7月31日付)、
コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 7月31日)、
稲作情報No.9(南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 7月27日)、
7/31稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会)、
稲作管理情報No.7(柏崎農業普及指導センター 8月1日)、柏崎地域新・助栽培情報No.8(柏崎農業普及指導センター 7月31日)、
平成29年上越地域米コシヒカリ・こしいぶき生育速報(7月31日)(上越農業普及指導センター)、
平成29年度稲作生育速報No.7(佐渡農業普及指導センター 7月31日)、
平成29年度糸魚川赤れる米づくりコシヒカリ生育情報NO.7(糸魚川地域農林振興部 8月1日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予報第6号(8月の発生予報)(新潟県病害虫防除所 7月31日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、直播情報(第6号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、
病害虫発生予報第5号(富山県農林水産総合技術センター 7月28日)、
平成29年度産米の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月28日)、
病害虫発生予報第5号(石川県農林総合研究センター 8月3日)、
稲作情報No.11[水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会) 7月14日]、
平成29年度農作物病害虫発生予報第6号(福井県農業試験場 7月31日)、
平成29年度 作物技術普及情報 第11号(出穂予測、刈り取り開始予測、高温障害対策)(松本農業改良普及センター)、
水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 7月19日)、水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 7月18日)、
病害虫発生予報第4号(長野県病害虫防除所 7月18日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月27日)、
平成29年度病害虫発生予報第7号(滋賀県病害虫防除所 7月19日)、
平成29年度兵庫農産物気象技術情報第4号(8月情報)について(兵庫県農政環境部 7月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(兵庫県病害虫防除所 7月21日)、
生育情報No.1水稲における当面の技術対策について(岡山県農林水産総合センター 岡山県農業気象技術連絡会議 7月28日)、
平成29年度病害虫発生予報第1号(岡山県病害虫防除所 7月27日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月3日)、
平成29年度広島県病害虫発生予報第5号(水稲)(広島県西部農業技術指導所 7月28日)、
平成29年度病害虫発生予報第1号(広島県農林水産局 8月1日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No.6)(IA長門大津、長門農林事務所農業部 8月1日)、農作物病害虫発生予報8月(山口県病害虫防除所 8月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物平成29年8月(愛媛県農林水産研究所 8月1日)、病害虫発生予報(8月)(愛媛県 7月31日)、
平成29年度における水稲(早期・普通期)の生育状況(6月30日時点)(高知県農業技術センター 6月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(8月)(高知県病害虫防除所 8月3日)、
福岡県米大豆生産改善速報第3号(福岡県 福岡県米大豆品質改善協議会 7月27日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(8月)(福岡県病害虫防除所 8月1日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(8月予報)(熊本県病害虫防除所 7月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 7月28日)、
平成29年度病害虫発生予報5号(8月)(鹿児島県病害虫防除所 7月27日)、

北海道地方方向1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方方向1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方方向1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方方向1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方方向1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方方向1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方方向1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方方向1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方方向1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
全国向こう3か月の天候の見通し(気象庁)、全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
異常天候早期警戒情報(気象庁、仙台管区気象台、新潟地方気象台、大阪管区気象台、広島地方気象台、高松地方気象台、福岡管区気象台、鹿児島地方気象台 8月3日)、
梅雨の時期に関する東北地方気象情報第2号(仙台管区気象台 8月2日)、梅雨の時期に関する北陸地方気象情報第2号(新潟地方気象台 8月2日)、
平成29年度渇水状況について(7月24日現在)(国土交通省)、